

授業科目名 (サブタイトル(副題))	保育実習Ⅰ(保育所)		
担当者	安田 則子、川村 高弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他			
[到達目標]			
①保育所の役割や機能を具体的に理解できるようになる。 ②観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深めることができるようになる。 ③既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解できるようになる。 ④保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解できるようになる。 ⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解できるようになる。			
[授業概要]			
保育士、保育所長の経験を有する教員が、保育実習について指導を行います。保育実習を通し、実際の保育の様子を見たり、子どもや保護者との関わりについて観察します。また、実習園の一日の生活の流れや保育環境についても理解します。さらに、日々の実習記録のまとめ方を学び、指導計画を立案し、部分実習を行います。 現場での先輩保育士から学ぶ姿勢で積極性と意欲をもって実習に臨み、実践を通して保育者としての学びを深めていってください。 この科目は保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲの単位取得のために修得すべき必修科目です。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]			
資料を自ら探し、教材研究に取り組んでおいてください。			
[授業計画]			
1. 保育所の役割と機能 ①保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり ②保育所保育指針に基づく保育の展開 2. 子どもの観察とその記録による理解 3. 子どもの発達過程の理解 4. 子どもの援助や関わり 5. 保育の計画に基づく保育内容 6. 子どもの発達過程に応じた保育内容 7. 子どもの生活や遊びと保育環境 8. 子どもの健康と安全 9. 保育の計画・観察・記録 ①全体的な計画と指導計画及び評価の理解 ②記録に基づく省察・自己評価 10. 専門職としての保育士の役割と職業倫理 ①保育士の業務内容 ②職員間の役割分担や連携・協働 ③保育士の役割と職業倫理			
[成績評価方法]			
実習記録(50%)、実習施設による評価(50%)で評価します。			
[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]			
課題は回収後、解説を行います。			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)]			
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[メールアドレス]			
(安田)n-yasuda@kwjc.kobe-wu.ac.jp (川村)tkawamura@kwjc.kobe-wu.ac.jp 質問等がある場合は、メールの件名に授業名・学科名・氏名を記載し、メール本文に質問事項等を記入してください。			

授業科目名 (副題)	保育実習 I (保育所)
担当者	安田 則子、川村 高弘
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【幼教1-1】現代の幼児教育・保育を支える幅広い教養や知識・技能を有している。 成績評価方法:実習記録、実習施設による評価 【幼教2-1】幼児教育・保育の実践を行うために必要なコミュニケーション力、表現力、問題解決力の基礎を有している。 成績評価方法:実習記録、実習施設による評価 [テキスト(ISBN)] [参考文献(ISBN)]	